

イノベーションセミナーのご案内

2019年度 信州メディカル産業振興会特別セミナー

本セミナーは、信州大学大学院 総合医理工学研究科 生命医工学専攻 講義の一部を一般公開するものです。
ビジネス界やイノベーション政策、教育、科学コミュニケーションなどの最前線で活躍する講師をお迎えします。
※各回で完結しますので一部だけの参加も歓迎します。

| 開催日時 (2019年) | 講義内容 | 講師 (敬称略) | 会場 (信州大学 松本キャンパス) | 申込 締切日 |
|--------------------------|----------------------------|----------------------------------|-------------------------|---------------|
| 10月25日 (金) 18時～21時 | イノベーション 推進法・科学 技術政策 | 佐藤 靖 (新潟大学) | 旭総合研究棟 (9階)講義室C | 10月18日 (金) |
| 11月1日 (金) 18時～21時 | イノベーション 事例特論・事 例 1 | 池野 文昭 (スタンフォード大学・信州大学) | 旭総合研究棟 (9階)講義室C | 10月25日 (金) |
| 11月8日 (金) 18時～21時 | イノベーション 事例特論・事 例 2、3 | 石見 陽 (メドピア株式会社) 林 俊弘 (信州大学) | 旭総合研究棟 (9階)講義室C | 11月1日 (金) |
| 11月29日 (金) 18時～21時 | イノベーション 推進法・外部 発信手法 | 詫摩 雅子 (日本科学未来館・サイエンスライ ター) | 旭総合研究棟 (9階)講義室C | 11月22日 (金) |
| 12月6日 (金) 18時～21時 | イノベーション 概論 | 金子 浩明 (グロービス経営大学院) | 理学部A棟 (1階)多目的 ホール | 11月29日 (金) |

申込方法

- 件名『イノベーションセミナー申込』
- メール本文①企業名(機関名) ②所属・役職 ③氏名 をご記入の上、
E-mail: smia@shinshu-u.ac.jp 宛に各回の申込締切を目安にお申込みください。

お問合せ先

信州大学 先鋭領域融合研究群
バイオメディカル研究所
担当：清水 則子
〒390-8621 長野県松本市旭三丁目1番1号
TEL：0263-37-3548
E-mail：biomedical@shinshu-u.ac.jp

申込先

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構
(信州メディカル産業振興会 事務局)
担当：足助、大竹
TEL：0263-37-3421
E-mail：smia@shinshu-u.ac.jp

アクセス

旭総合研究棟：正門入って正面(裏面地図参照)
理学部A棟：正門入って左手
詳細については信州大学ホームページ内のキャンパスマップにてご確認ください
(右記URL参照) <http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map05.html#campus>

【講師：イノベーションセミナー】

佐藤 靖 新潟大学 教授

10月25日(金) イノベーション推進法・科学技術政策

近年、イノベーションの推進は世界各国の政府の重要課題となっている。本講義では、米国及び日本を中心に、第2次世界大戦以降これまで科学技術政策がどのように進展してきたかを振り返りつつ、科学技術イノベーション政策の全体構造とその主要な論点を概観する。

池野 文昭 スタンフォード大学 主任研究員・信州大学 特任教授 11月1日(金) イノベーション事例特論・事例1

Innovation = Invention x Implementation
MedTech Invention = Unmet Need x Solutions
Drug Invention = Discovery x Unmet Needs
Creativity is Thinking up new things. Innovation is Doing new things (By Theodor Levitt)

これらの言葉が示すように、イノベーションは新たな価値を生んで、それを持っていて社会を変えていくことと定義される。それでは、どのように新たな価値を見つけ、どのように社会を変えていくのか？その答えの1つが、デザイン思考という考え方である。特に、医療機器に特化してデザイン思考的な開発スタイルであるスタンフォードバイオデザイン講座は、その1つの手法である。短い時間であるが、このバイオデザインの発想の初歩を解説する。

石見 陽 メドピア株式会社 代表取締役社長CEO 11月8日(金) イノベーション事例特論・事例2、3

現役医師兼起業家として日本で唯一東証マザーズに上場している石見氏（信州大学医学部卒業）が、自分自身の置かれた社会環境、臨床経験から実際の起業、上場へと至る過程で学んだことを共有します。

林 俊弘 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 教授

総合商社にて37年間を過ごしましたが、その収益構造は取引の仲介をする売買から、商社が自ら出資し「開業」する形態に進化しました。ローソンは三菱商事系です。どうやって利益は獲得されるのか？取引や投資からの収益とは？自己の経験である北米にての合併会社設立のきっかけ、当時の技術革新、共同出資をした製造・開発パートナーとの葛藤や撤退もご紹介し、今後の技術革新を捉え、立案や起業の参考としていただければと考えます。

詫摩 雅子 日本科学未来館・サイエンスライター 11月29日(金) イノベーション推進法・外部発信手法

すばらしい研究成果が得られても、誰も知らなければ評価もされません。一方で、皆が応援してくれるようになればチームのやる気も上がります。適切な広報をすれば、一般市民の方々の興味と関心、さらには共感を得ることも可能になるでしょう。広報にはさまざまな媒体を介するものがあり、媒体ごとに特徴や問題点があります。この回は「味方を得る広報」と題して、コツをお伝えします。

金子 浩明 グロービス経営大学院 シニア・ファカルティ・ディレクター 12月6日(金) イノベーション概論

新規性や独自性がある研究や技術開発の成果を製品やサービスに導入したとしても、それが市場での成功につながるとは限りません。逆に、技術的な独自性や新規性が乏しくても、市場で成功する製品やサービスがあります。その違いはどこにあるのでしょうか。本講義では、研究開発を市場での事業的成功に結びつけるために必要な考え方を学びます。

会場詳細

信州大学松本キャンパス

■JR松本駅「お城口（東口）」を出て右前方、アルピコバス「松本バスターミナル」のりば1「信大横田循環線」、または「浅間線」に乗車し約15分、バス停「信州大学前」で下車して道路向かいに大学正門があります。
(バス片道200円)

【駐車場のご利用について】

■信州大学医学部附属病院外来駐車場をご利用いただけますが、大変混雑いたします。できるだけ公共交通機関をご利用ください(無料駐車券は発行いたしません)。

